

2017年度 和泉短期大学

| | | | |
|----------------------|---|-------------------------------------|--|
| 授業科目名 | 保育実習指導Ⅱ | 教員氏名 | 久保小枝子・横川剛毅・櫻井奈津子・平田美智子・松山洋平・片山知子・中野陽子・矢野由佳子・井狩芳子・平沼晶子・八代陽子・山本美貴子 |
| 学年 | 2年 | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講学期 | 通年 |
| 必修・選択 | 保育士必修 | 単位数 | 1単位 |
| テーマ | 本学の教育目標である保育者の資質を養成することを基盤として、保育実習の意義・目的・実習生としての心構えを学ぶ また、保育実習が実り多いものとなるために、今までの実習を活かし、自己課題の設定など学びを深めていく | | |
| 授業の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅱ（児童福祉施設）の事前・事後指導のために開講される授業である 今までの実習経験を活かし、保育実習の意義や目的を理解し、実習に向けて目的意識を高め、自己課題を持って実習に取り組めるよう学ぶ ＊この科目は前後期にかけて行う変則授業である。開講日時に留意すること ※授業へは全出席すること やむを得ない理由によって欠席した場合は、科目担当教員の指示を仰ぎ補習を受けること | | |
| 授業の到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの実習から自己課題を見出し、さらなる学びを明確にし、実習への意欲を高める 2. 実習登録、実習関係書類の作成や実習園のオリエンテーションなど、事前の手続きを進める 3. 実習先について理解を深め、実習の目的を明確にもつ 4. 実習を振り返り、学びや反省から自己の課題を明確にする | | |
| テキスト | 『実習ルールブック』（和泉短期大学） 『事前・事後学習のポイントを理解！保育所・施設・幼稚園実習ステップブック』（みらい） | | |
| 参考書 | 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』（厚生労働省） 『保育・福祉小六法』（みらい） | | 授業中にプリントを配布する |
| ポートフォリオ | ・実習指導授業内で示されたワークシートについて取り組みポートフォリオに綴じること | | |
| 成績評価方法 | 授業内評価： <ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み50%（授業外課題、実習関係書類、腸内細菌検査、ワークシートなどの提出状況や取り組み状況や内容の理解度） ・実習の記録の提出20%（教員への提出状況） ・授業への参加態度30%（グループワーク、発表の内容等を含む） 事前指導と事後指導を一体として2年次後期に評価する | | |
| 授 業 概 要 と 課 題 | | | |
| 第1回 | テーマ 内容 | 実習の目標と内容の理解① 保育実習Ⅰから深まる実習段階を理解する | |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第8章①②を読む | |
| 第2回 | テーマ 内容 | 実習の目標と内容の理解② 実習の目標と内容の理解・日誌用紙の理解 | |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第8章①②を読む | |
| 第3回 | テーマ 内容 | 保育実習Ⅱの意義と目的 保育所・施設の役割・内容 | |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第5,6章を読む | |
| 第4回 | テーマ 内容 | 配属先の理解 配属発表・実習先の理解・巡回担当教員との面談 | |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第8章③を読む | |

| | | |
|-------|-----------|-------------------------------------|
| 第 5 回 | テーマ 内容 | 自己課題の設定 |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉実習の記録に必要事項を記入する |
| 第 6 回 | テーマ 内容 | 実習直前指導 腸内細菌検査・守秘義務・大学への連絡方法等について |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉実習ルールブックの該当箇所を確認する |
| 第 7 回 | テーマ 内容 | 事後指導① 課題の省察・実習での学びを発表 |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第 7 章④を読む |
| 第 8 回 | テーマ 内容 | 事後指導② 日誌提出・振り返り |
| | 授業外指示 | 〈予習〉〈復習〉テキスト第 8 章を読む |